



# 進路だより

第8号

令和6年11月22日発行

宮城県東松島高等学校進路指導部

## 「将来に向けて今からできること」

23年次主任

急に気温が下がり、冬も近くなってきました。みなさんは健康に毎日登校できているでしょうか。昇降口から入って左、事務室の向かい側に掲示される企業や学校の名前が徐々に増えていることに気付いた人はいるでしょうか。そう、この時期は「卒業予定の先輩が進路を確定していく時期」です。23年次の生徒は早くてもあと1年、24年次の生徒は2年で進路を決めることとなります。まだ先のことだとも思いますが、1年はあっという間です。今から将来に向けて何をすればいいのかを以下に記したいと思います。

### 1) 進学を目指している生徒は学校について調べること

進学する場合、行きたい学校について、資料を入手したりオープンキャンパスに行ったりして把握してほしいところです。入学後に「こんなはずではなかった」と辞める生徒も見られます。試験内容によっては、今から勉強を進めておかなければ厳しいところもあります。また、進学するにはお金がかかります。入学金や授業料などを調べ、家族で話し合うようにしましょう。

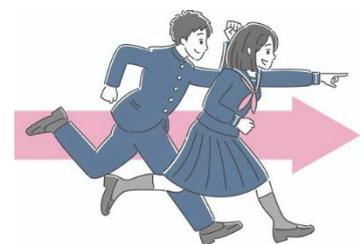
### 2) 欠席をできるだけ減らすこと

以前担任をした二人の生徒の話です。①成績は振るわなかったが一生懸命頑張っていた、3年間皆勤の生徒。②成績はクラスで上位だったが、かなりの頻度で欠席を繰り返していた生徒。卒業後に二人の話を知りました。①の生徒は9月の就職試験で合格し、話を聞いた時には大きな仕事を任されることになったと言っていました。②の生徒については人づてに知りましたが、12月になっても就職が決まらなかったそうです。企業には「調査書」という学校生活について書かれた文書が送られます。嘘は絶対に書けません。欠席が多い人はできるだけ増やさない努力をしましょう。

### 3) 「高校生活で何を頑張ったか」は何かを書くことになる

進学なら「エントリーシート」などを提出するケースが多いです。就職なら「履歴書」を書かなければなりません。いざという時に何も書けないと困ります。行事にかかわる、資格取得を目指すなど、今からできることを探しましょう。

ちなみに、私が教員を目指すことを決めたのは高2年生の秋です。そこから努力を重ね、さまざまな縁があってここにいます。今から動いても遅いことはありません。少しずつ動いてみてください。



## 「未知の世界も怖くない！」

保健体育担当

高校3年生の夏～秋、友人たちが進路を絞り始めている中で、私はモヤモヤしていました。その原因は、心のどこかでは新体操を続けたいと思いつつも、大した成績も残していない人が大学でも競技を続けるなんて、、、という自信のなさでした。しかし、ここでやめたらきっと一生後悔すると感じ、競技を続けられる場所を探していたところ、偶然見つけたのが愛知県の大学でした。競技を続けるだけであれば、もっと近くに環境が整った場所もありましたが、県外へ出たことで視野が広がり、全国から集まった仲間と過ごした時間や得たものは宝物となりました。また、私の核となるものはやはり新体操だと実感できた時間でもありました。進路は誰もが悩み、何が正解かわからないからこそ、何でもやってみることや、まずは行ってみることをオススメします。その中で自分の“核”を見つけてほしいなと思います。みなさんのことを応援しています！

## 「ふなっしーのことばより」

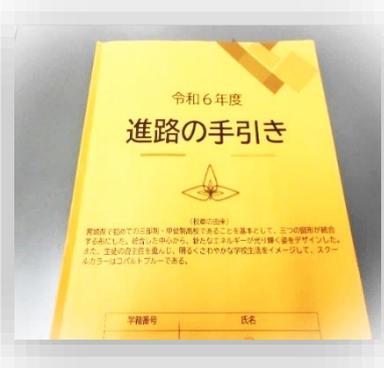
理科担当

『悩むときは、その時において何に主軸を置くかで考える』家族なのか、仕事なのか、健康とか、自分の時間とか、いろいろありますが、その時、自分が一番したいことを大切にしてみてください。…これ“ふなっしー”の受け売りです。結構前に FM でふなっしーが言っていたんです。この言葉がなぜか印象に残って、自分で何か決断する時、僕は今、何を一番したいのかをいつも考えます。例えば、僕は大学を卒業後すぐ教員になったわけではありません。何回か転職も経験しています。その時、一番やりたいことをするためです。これを読んでくれたみなさんもそのように自分の進路を考え、生きてくださいとは言いません。でも、そんな考え方や生き方もあることを知ってください。一度きりの人生です。やりたいこと、やりましょう。

### 「次年度の目標」を設定しよう

### 令和6年度進路の手引き

進路の手引きには、進路に関する様々な情報が載っています。この時期に、もう一度進路の手引きを読み返し、次年度の目標を設定しよう。例えば、就職内定者は、社会人としての目標を設定する。進学合格者は、専門分野の学習目標を設定する。入学年次、中間年次生は、進路日程等を確認して、目標を設定する。など、状況によって様々です。わからないことがあれば、進路の手引きを持参し、SAや進路の先生等に相談に行き、早急に次年度の準備を始めよう。



### 調べてみよう「国家資格」

### 11・12月の進路関係行事

日本には約300の国家資格があります。国家資格を取得すると、仕事の幅が広がる。社会的信用が増す。給料アップに繋がる。生涯活用できる等のメリットがあります。高校生でも受験できる国家資格は、例えば、電気工事士、行政書士、ITパスポート、宅建士など、たくさんあります。まずは、「国家資格一覧」とインターネットを検索して、自分探しの旅に出よう。「これだ」という資格が見つかるかも。

11月21日(木)～27日(水)

後期第1回考査

12月12日(木)

就職未定者ハローワーク求職登録

12月25日(水)～1月7日(火)

冬季休業

